

あいち農産物生産流通レポート

平成 2 1 年 5 月号

情報サロン		
・大田市場で「第11回 旬の食材提案会～トマト祭り～」 が開催されました。	(東京事務所)	1
地域トピックス		
・日本初！単位結果性とげなしナス新品種「試交05-3」 の開発	(農業総合試験場)	3
東日本情報		
・ベジタブル&フルーツマイスター協会「愛知産のトマト」 ワークショップ	(東京事務所)	4
西日本情報		
・燃料価格高騰に伴い省エネ設備の導入支援が実施されました	(園芸農産課)	6
フラワーページ		
・「丸の内フラワーウィークス2009」- 花香る、丸の内 -	(東京事務所)	8
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		9
・名古屋・東京市場における青果物の5月の見通し		10
花 き		
・切花・鉢花の5月の見通し(県内市場)		6
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2009年2月)		20
関連指数		21

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

大田市場で「第11回 旬の食材提案会～トマト祭り～」が開催されました

4月14日、大田市場2階大ホールにて、東京青果株式会社主催による「旬の食材提案会」が開催されました。今回は旬の時期を迎えた春トマトをテーマにして、同社が取り扱うトマト商品93点が展示されました。このうち愛知県から大玉トマト3点、ファーストトマト2点、ミニトマト5点、中玉トマト1点、フルーツトマト3点、イタリアントマト1点およびマイクロミニトマト1点の合計16点が出展されました。

仲卸、小売、量販店、外食、納入業者等の実需者は9時30分の開始を待ちかねたかのように多数入場し、産地名を確認しながら商品ごとに用意されたサンプルの試食を行い、品種や産地による味の違いを比較していました。産地関係者への質問が飛び交う場面も多くみられ、なかには商品が気に入り商談にすすむケースもありました。

愛知県産トマトの評判はというと、糖度が高く酸味とのバランスがとれたフルーツトマト（ルネッサンス、ファースト）の食味を絶賛する声が多く聞かれました。また、レギュラーのファーストトマト、ミニトマトなども食味が良いと好評でした。

会場ではイタリア料理店シェフによるイタリアントマトを使った料理、デザートを紹介ならびに試食もおこなわれ、トマトの食べ方の提案もされました。

実需者に対してトマト産地を直接知ってもらう機会として今後の継続的發展が期待されます。



会場の全景（手前は愛知県産トマトのブース）



イタリアントマトを使った料理

日本初！単為結果性ととげなしナス新品種「試交05-3」の開発

農業総合試験場

農業総合試験場園芸研究部野菜グループでは、(独)農業・食品産業技術総合研究機構野菜茶業研究所(以下野茶研)と共同で、単為結果性ととげなし性を併せ持ち、促成栽培に適したナス新品種「試交05-3」を開発しました。

研究の背景と目的

本県は「冬春なす」を主力作型とする全国6位のナス産地です。栽培期間が長期にわたるこの作型では、受粉作業の手間やへたのとげを気にしながらの作業が課題となっており、産地競争の激化や漬物需要の減少により一層の経営努力を強いられている生産者からは、作業の快適化と省力化に向けた技術開発が求められていました。そこで、農総試では2003年にとげのない「とげなし紺美」を開発し、さらに受粉作業をしなくても果実が肥大する品種の育成に取り組んできました。

育成経過

「試交05-3」は、2002年から7年かけて開発しました。

まず、とげなし性を有する「とげなし紺美」の親系統、単為結果性を有する品種‘Talina’、野茶研育成の‘AE-P08’を素材として、親世代となる系統を作出、選抜しました。次に、それらを交配して得られた3系統について、農家の協力により現地での適応性を調査し、最も果実品質の優れた1系統を選抜しました。

2007年、この系統の現地拡大試験を実施した結果、優良な品種特性が確認できたので、2008年11月10日に品種登録申請しました。

「試交05-3」の特徴

「試交05-3」は、高温期の一部を除き受粉作業をしなくても果実は正常に肥大します。また、へた・果梗・茎および葉のいずれの部位にも、とげの発生がありません。果形はボリューム感のある楕円形で、果実の揃いが良好です。果皮色はやや淡いですが、光沢が良く日焼け果の発生もほとんどありません。栽培期間を通して曲がり果や電球果の発生が少なく、高い秀品率を示します。



受粉作業が不要でとげのない「試交05-3」

普及目標

県内の産地では、「試交05-3」への関心が高まっています。農総試では関係機関と連携して、2013年には県内で30haの作付けがなされるよう、普及に取り組んでいます。

ベジタブル&フルーツマイスター協会「愛知産のトマト」ワークショップ

ベジタブル&フルーツマイスター協会（以下、協会）が、ジュニア・マイスター以上の資格を持つ会員（通称：野菜ソムリエ）を対象に、「愛知県産のトマト」をテーマにしたワークショップを、平成21年4月13日に渋谷区道玄坂の協会本部で開催しました。

協会は、東京本部を始め、大阪、名古屋、札幌、仙台、福岡に支社を持ち、日本全国で2万人以上の方が「野菜ソムリエ」として各種イベントや教室等で活躍されています。

「野菜ソムリエ」には、ジュニア・マイスター、マイスター、シニア・マイスターの段階があり、資質向上や連携強化を目的に、東京本部では月に10回程度、座学や食べ比べなどを行うワークショップ、料理教室などを開催しています。（各講座30名程度）

今回は、昨年11月に東京で行ったトップセールス「旬菜・旬花 まるごと「あいち」大交流会」で司会を務めていただいた、マイスターでありフリーアナウンサーの香月りさ氏の提案で実現し、当グループとJAあいち経済連東京営業所が講師を担当しました。

1 紹介品目

京浜市場に出荷されている本県産のトマトを13種類揃えました。

JAひまわり	丸トマト
	ミニトマト
	ロツトトマト
JA豊橋	イエロートマト
	イタリアントマト
	トマト麗
	ファーストトマト麗
	イエローミニトマト
	ミニトマト麗
	イエローミニトマト麗
JA愛知みなみ	ファーストトマト
	ミディトマト
	ミニトマト



2 ワークショップ

参加者はジュニア・マイスターを中心に26名。平日の19時から21時の開催時間（会費制）にも関わらず、募集告知後すぐに満員御礼となり、キャンセル待ちもどるほどの人気講座となりました。みなさんそれぞれの仕事を終えた後に参加されていますが、開始30分前から次々に集まり始め、意気込みが感じられました。



初めに、仕掛け人の香月マイスターから講師の紹介があり、メインテーマの「愛知県産トマト」に入る前に、当グループから愛知県農業のPRを行いました。

やはり、「愛知県=工業県」のイメージが強かったようで、「農業産出額が全国第5位」、「キャベツ、トマト、大葉、ふき、ぎんなん、冬瓜、いちじく、ハウスミカンなど、多くの作物を年間通じて生産」、「花きは昭和37年から出荷額全国第1位」などと説明すると、「知らなかった」との声が聞こえました。

次に、JAあいち経済連東京営業所から「愛知県産トマト」について、種類ごとに品種や特徴、写真によるトマトほ場の説明や、よい品物を出荷するための産地の取り組み（選果基準や出荷検査の方法）などを説明したあと、参加者お待ちかねの食べ比べです。

全てのテーブルに糖度計を用意しましたが、数値を計る前に、自らの味覚で5段階評価。（自分にとってちょうど良い=5点、以下減点していく）その後、参加者が交代しながら糖度測定です。美味しいトマトと糖度が高いトマトが一致しない場合もあり、甘みだけでなく酸味とのバランスが必要との認識を持っていただきました。イタリアントマトは、生食と加熱したものを食べ比べ、味の違いも体感。イエロートマトの味も申し分なく、「黄色いトマトへの偏見が無くなった。」、「この味なら購入できる」と好評でした。



3 ふきご飯の試食

ワークショップの最後には、JAあいち経済連が「ふきご飯」の試食を用意して、板ずりや皮むきなど簡単な作り方を実演しました。

約半数の方が、自分で“ふき”を購入したことがあるとのことでしたが、誰でも簡単につくれる“ふきご飯”を提案し、“ふき”により親しんでいただけたと思います。

マイスターの方々は、一方では自らが講師となって料理教室や講習会など、様々な場面で情報を発信しています。ワークショップでも一生懸命に勉強しよう、身につけようという姿勢が強く感じられました。終了後も「愛知県の農家の真剣な取り組みがよくわかった。」と評価も上々で、「次回は何をやりましょうか？」とのオファーも。

一つのきっかけで繋がった“ご縁”で実現した企画でしたが、今後も是非続けていきたいと考えています。

燃油価格高騰に伴い省エネ設備の導入支援が実施されました

施設園芸の暖房用に使われるA重油の農家売渡し価格(1ℓ当たり税込み)は、平成16年1月に37.0円であったものが、20年8月には122.6円と高騰しました。21年4月には49.9円と低下しているものの施設園芸における生産コストが大きく上昇し、農家経営が強く圧迫されました。このため、平成20年度は燃油価格高騰に伴う省エネルギー設備の導入支援等を積極的に実施しました。

1 県による省エネルギー設備の導入支援

県では、平成19年度から県単独補助事業で「省エネルギー化推進産地整備事業」を開始し、20年度には予算枠の拡充、採択要件の緩和などを行い、燃油使用量の1割以上低減に取り組む省エネルギー設備の導入や、品目転換を行う地区への支援を実施しました。



農家からの要望が多い「循環扇」

作目別実績

区 分	野菜	果樹	花き	計
循環扇	429台	123台	584台	1,136台
多段式サーモ	49台	7台	28台	84台
排熱回収装置	1台	-	3台	4台
三重カーテン	17,367㎡	29,743㎡	23,541㎡	70,651㎡
空気膜被覆	-	2,700㎡	-	2,700㎡
品目転換設備	ハウスみかん	ブルーベリー	1,560㎡	

2 国の燃油・肥料高騰緊急対策によるヒートポンプの導入支援

国では補正予算により、各都道府県に農業者団体と県等からなる協議会を設置し、ヒートポンプ等の導入を通じて燃油使用量を2割以上低減する取組を行う農業者組織に助成する対策等が実施されました。本県では、平成20年11月14日に農業関係団体及び県で構成する「愛知県肥料・燃油高騰対策推進協議会」を設置し、ヒートポンプの導入を支援しました。

作目別実績

区 分	野菜	果樹	花き	計
ヒートポンプ	54台	17台	105台	176台

3 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(通称「NEDO」)によるヒートポンプ等の導入支援

NEDOは、経済産業省の事業により省エネルギー効果の高い設備導入を支援しており、農業ではヒートポンプの導入や既設の暖房機をエネルギー効率の高いもの(高効率暖房機)に代替する事業を実施しました。ヒートポンプの導入については、本県での導入台数が全国の約4割を占めました。

作目別実績

区 分	野菜	果樹	花き	計
ヒートポンプ	53台	62台	360台	475台
高効率暖房機	6台	3台	7台	16台

4 (社)日本施設園芸協会によるヒートポンプ等の導入支援

日本施設園芸協会は、農林水産省の事業により施設園芸農家を対象に多層カーテンと組み合わせたヒートポンプのモデル導入を支援しました。

作目別実績

区 分	野菜	花き	計
ヒートポンプ	30台	67台	97台
内張カーテン	10,103m ²	16,127m ²	26,320m ²

5 JAグループ愛知の対策

JAグループ愛知は、平成20年8月28日に農業生産資材価格高騰に対する緊急支援対策を発表し、そのうち原油価格高騰対策として、重油価格への補てん、省エネルギー機器・資材の導入に対する助成、軽油価格高騰に伴う出荷物輸送運賃値上げの延期などを実施しました。

省エネルギー機器・資材の導入に対する助成(作目別実績)

区 分	野 菜	果 樹	花 き	計
ヒートポンプ	71台	5台	73台	149台
循環扇	1,401台	58台	851台	2,310台
排熱回収装置	5台	-	-	5台
天井カーテン	22,485m ²	-	21,217m ²	43,702m ²
空気膜被覆	5,416m ²	80,000m ²	-	85,416m ²
サイドカーテン	655,515m ²	232,700m ²	526,565m ²	1,414,780m ²

東京丸の内フラワーウィークス2009 - 花薫る、丸の内 -

——— 東京駅の人通りもまばらになった平成21年4月21日午前0時、
駅に近接する丸の内ビルでは、日本最大級の花の祭典の準備が慌
ただしく進められています ———

昨年始まった丸の内フラワーウィークスが、
今年は「ジャパンフラワーフェスティバル2
009 in 東京丸の内」も併催して開催（4/21
～4/26）されました。昭和37年から連続して
花き産出額全国1位を誇る愛知県は、愛知県
花き温室園芸組合連合会、JA あいち経済連、
JA 愛知みなみで組織する「JFF2009 あいち」
と、東京を中心に店舗展開を図る「青山フラ
ワーマーケット」とのコラボレーションによ
り、「きくや in あいち」と題してキクの展示を行いました。



同日午前10時からの開会式では、実行委員長から「コンセプトは“都市に美しい
花や緑を”。東京の玄関である丸の内では花と緑の都市空間を作り出すことは、新たな
提案を生み出すきっかけとなる。」と挨拶があり、来賓の高円宮妃殿下からは「花と
緑のすばらしさを都会に住む人々に認識してもらいたい機会」とお言葉がありました。

一般公開が始まると、ちょうどお昼時ということもあ
って周辺のオフィスビルや観光客など大勢の来場者が
訪れ、会場内は大賑わい。今年の「JFF2009 あいち」の
ブースはキクに特化し、「キクの生産日本一」をアピ
ール。カラフルな展示内容に、来場者からは「キクだとは
思わなかった。」「愛知が日本一の産地なんだ」とい
った声が聞かれ、カメラを取り出して写真を撮る人や、展
示された花をバックに記念写真を撮る観光客も見られ
ました。



また、デザインを担当した青山フラワーマーケットは、
アイスクリームカップに似た容器を使った展示（右写
真）を行い、切り花を気軽に家庭で楽しむ方法を提案しました。「これなら気軽にい
いね。」という来場者も多く、今後の販売にも活かされることでしょう。

花き業界でも“不景気”という言葉が当たり前になってしまった厳しい状況ですが、
各ブースとも「少しでも気軽に家庭で花が使われるように」という願いが込められた
展示内容になっているのを感じました。

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋中央卸売市場（品目：みつば）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
20年実績	65	63 (97%)	303	299	静岡 (2%)
21年見通し	63	61	280	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>みつばは水耕栽培で周年栽培されるが、春・秋は品質が良い時期であり入荷は安定している。 価格の低迷に伴い、作付は年々減少が続いており、今年も同様の傾向である。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>			<p>土用丑や年末年始などのイベント時のみに消費が集中しており、若年層の消費が減少している。 旬の3月から6月の需要が少ないため、この時期におひたし等の試食宣伝等をして、日常の消費を促すことが必要である。 出荷時の入り数が、30入りの場合と20入りの場合があるので、統一してほしい。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：ペコロス）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
20年実績	20	18 (89%)	549	547	オーストラリア (9%) 静岡 (1%) 中国 (1%)
21年見通し	17	-	600	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>北海道からの入荷は3月でほぼ終了。4月上旬からは本県産の入荷が始まり、下旬かけて本格化するも、ここ数年作付け面積の減少傾向が続いており、入荷量はやや少なくなる見込み。 全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>			<p>ペコロスは業務向けを中心に安定した需要がある。玉揃いは良いので、需要の多いM玉を中心として正確に選果してもらい、安定出荷をお願いしたい。愛知県産に依存している品目であるため、入荷量が現状より少なくなると価格高騰の原因となり顧客離れにつながるため産地規模の維持に努めて欲しい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の5月の見通し

名古屋市中央卸売市場

4月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	16年	39,339	192	175	184	215	愛知 29%
	17年	40,701	179	185	174	177	北海道 9%
	18年	41,890	199	207	185	207	茨城 8%
	19年	40,504	191	204	192	180	長野 7%
	20年	40,658	191	183	200	191	
	5カ年平均	40,618	190	-	-	-	
	21年見通し	39,707	194	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>地元愛知と北海道、レタス等の入荷が増える茨城、長野からの入荷が中心となる。根菜は出荷ばらつく。葉ものは4月上旬の干ばつにより生育遅れ気味、果菜は気温上昇とともに入荷安定する見込み。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並となる見込み。</p>							
だいこん		2,511	72	69	63	88	愛知 88%
	17年	2,693	74	73	65	86	茨城 3%
	18年	2,802	91	94	69	117	千葉 3%
	19年	2,290	82	80	80	86	鹿児島 2%
	20年	2,411	88	85	100	82	
	5カ年平均	2,541	81	80	75	92	
	21年見通し	2,400	80	80	80	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>地元愛知からの入荷とが中心となる。千葉、茨城は減少。干ばつの影響からか生育が悪く、進ちょく悪い。入荷量は前年並みで、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>							
にんじん	16年	2,825	114	144	116	91	徳島 68%
	17年	2,871	113	121	113	108	岐阜 24%
	18年	2,556	172	174	167	175	熊本 5%
	19年	2,736	128	155	132	105	愛知 1%
	20年	2,252	202	200	233	181	
	5カ年平均	2,648	143	157	148	129	
	21年見通し	2,500	150	160	150	140	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>前月に引き続き徳島からの入荷が中心で、岐阜からの入荷も始まる。4月の好天により作況良いが、今後は雨により入荷のばらつきが予想される。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

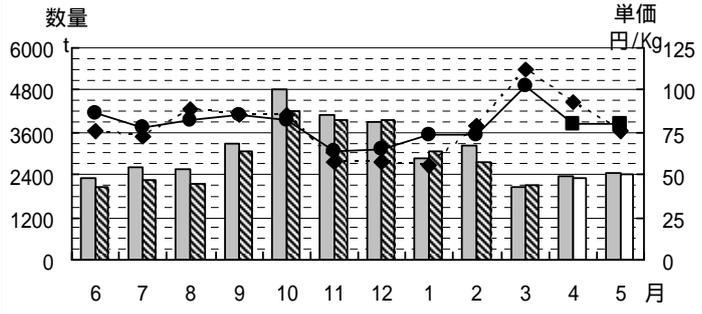
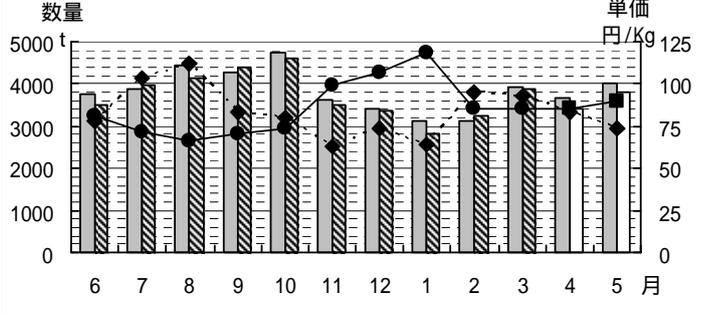
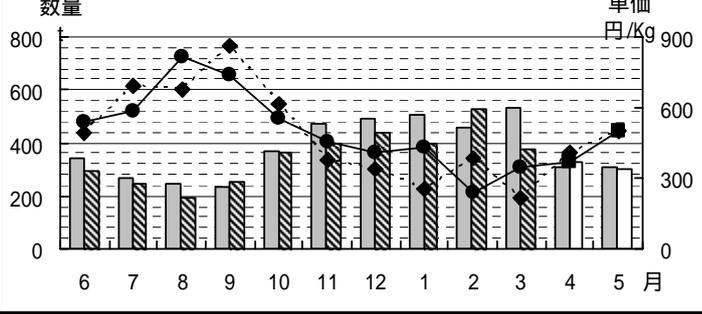
4月20日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	16年	139,924	207	198	195	227	千葉 18% 茨城 15% 佐賀 8% 埼玉 5% (愛知産比率 3%)
	17年	141,252	196	203	198	189	
	18年	143,667	217	226	201	225	
	19年	143,223	207	228	195	197	
	20年	141,595	218	217	227	211	
	5カ年平均	141,932	209	214	203	210	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	21年見通し	142,000	208	212	209	203	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>入荷の中心は関東産地となり、土物類果菜類は西南暖地からの入荷が本格化する。4月中旬以降、温暖で多日照な日が続いているため生育は回復しており、概ね順調に推移していくものと思われる。入荷量は前年並み、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
だいこん	16年	9,729	73	70	62	88	千葉 79% 茨城 8% 埼玉 3% 青森 3% (愛知産比率 -%)
	17年	9,808	75	81	68	77	
	18年	9,824	91	100	74	100	
	19年	9,302	85	84	79	90	
	20年	9,589	85	87	97	73	
	5カ年平均	9,650	82	84	76	86	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	21年見通し	9,900	85	85	85	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉からの入荷が中心となる。生育は概ね順調で病害虫の被害もない。今後、好天が続けば3L比率が増加し豊作傾向となる可能性も高い。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					
にじん	16年	8,384	130	156	124	115	徳島 55% 千葉 27% 埼玉 7% 台湾 2% (愛知産比率 0%)
	17年	8,263	126	132	128	119	
	18年	7,825	182	178	177	191	
	19年	7,828	143	156	146	131	
	20年	7,486	217	203	247	200	
	5カ年平均	7,957	158	165	164	151	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	21年見通し	7,250	140	140	145	135	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>徳島と千葉からの入荷が中心となる。徳島は干ばつの影響で生育にはばらつきが目立つ。千葉は12月の降雨によるは種が遅れと2月の天候不順の影響でやや生育が遅れぎみ。埼玉は生育順調。入荷量は前年をやや下回り、価格は不作で高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	16年	2,464	81	80	74	88	茨城 67%
	17年	2,297	67	66	66	69	長野 19%
	18年	2,726	106	106	103	108	愛知 13%
	19年	2,364	78	87	68	77	
	20年	2,456	76	71	84	73	
さい	5カ年平均	2,461	82	83	80	84	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	2,400	80	90	70	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に、長野、愛知から入荷する。4月上旬の干ばつにより小玉傾向で、入荷も少ない。愛知は病害虫の発生がなく生育は順調。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年をやや上回る見込み。</p>					
キャベツ	16年	3,779	69	76	57	76	愛知 57%
	17年	3,648	96	101	102	86	茨城 20%
	18年	4,088	102	105	93	111	兵庫 11%
	19年	3,735	103	114	109	89	三重 4%
	20年	4,013	74	82	82	60	
べつ	5カ年平均	3,853	89	96	88	85	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	3,800	90	100	90	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に引き続き愛知を中心に、茨城、兵庫からの入荷が増加する。4月の干ばつで生育が遅れ、小玉傾向。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年度を大幅に上回る見込み。</p>					
ほうれんそう	16年	297	521	456	442	676	岐阜 81%
	17年	274	451	336	544	479	愛知 9%
	18年	308	468	478	421	509	長野 4%
	19年	307	529	510	562	524	
	20年	309	497	520	528	463	
れん	5カ年平均	299	494	463	499	530	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	300	500	500	500	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知から、岐阜中心に切り替わる。岐阜は4月から出そろい、5月初旬にピークを迎える。作付面積は前年より増加の見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					

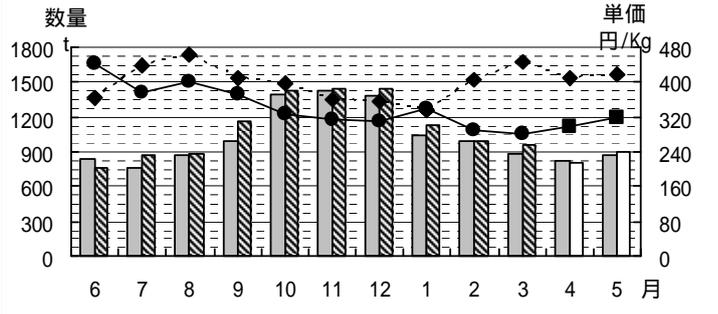
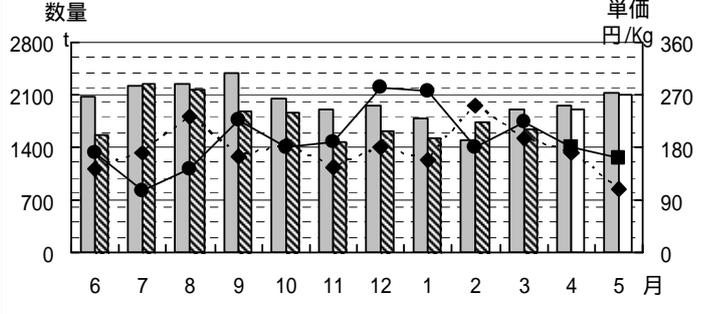
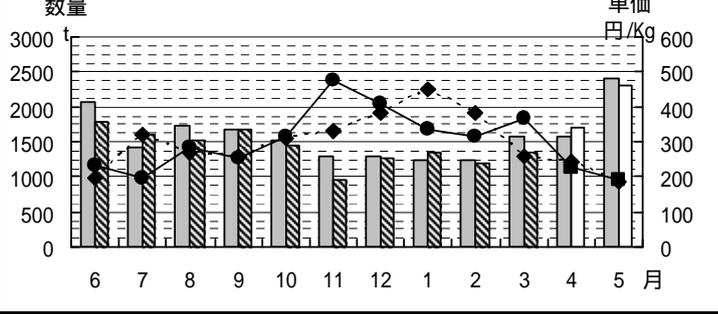
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	16年	6,751	52	54	47	56	茨城 92% 長野 6% 群馬 1% (愛知産比率 0%)
	17年	6,646	43	45	42	43	
	18年	6,502	83	93	81	76	
	19年	5,826	52	65	42	51	
	20年	6,096	54	49	63	52	
さい	5カ年平均	6,364	57	61	55	56	前年及び本年の入荷量・価格の動き
い	21年見通し	6,100	60	70	58	52	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城からの入荷が中心となり、長野からの入荷も始まってくる。茨城の生育は3月の天候不順で一旦遅れたが、その後の天候回復で概ね平年並みの作柄となっている。長野の生育は概ね順調である。入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
		<p>ほうきの数量と単価の推移グラフ。数量は6月～12月まで増加傾向にあり、1月～5月は減少傾向にある。単価は6月～12月まで上昇傾向にあり、1月～5月は減少傾向にある。</p>					
キャベツ	16年	17,243	66	69	55	76	千葉 41% 神奈川 28% 茨城 14% 愛知 11% (愛知産比率 11%)
	17年	16,086	91	88	100	87	
	18年	18,392	85	88	70	98	
	19年	16,139	90	98	90	82	
	20年	16,800	72	75	84	59	
さい	5カ年平均	16,932	81	84	80	80	前年及び本年の入荷量・価格の動き
い	21年見通し	17,900	75	75	75	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、神奈川を中心とした関東産地からの入荷が中心となる。千葉は降雨による種の遅れがあったが現在、生育は概ね順調。神奈川の生育は4月の降雨で概ね回復。愛知はGW後に夏キャベツが増加する見込み。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
		<p>キャベツの数量と単価の推移グラフ。数量は6月～12月まで増加傾向にあり、1月～5月は減少傾向にある。単価は6月～12月まで上昇傾向にあり、1月～5月は減少傾向にある。</p>					
ほうれんそう	16年	1,582	481	447	380	623	群馬 32% 茨城 18% 埼玉 18% 岩手 18% (愛知産比率 0%)
	17年	1,524	391	354	426	393	
	18年	1,845	358	401	302	387	
	19年	1,548	398	393	412	391	
	20年	1,727	393	417	438	340	
さい	5カ年平均	1,645	403	402	392	427	前年及び本年の入荷量・価格の動き
い	21年見通し	1,760	380	320	400	420	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、埼玉の関東産地に加えて岩手からの入荷が始まる。群馬の生育は4月前半の干ばつの影響からやや遅れ気味。茨城は一部地域を除き概ね順調。埼玉の生育も概ね順調。岩手の生育は天候に恵まれ品質が良好。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
		<p>ほうれんそうの数量と単価の推移グラフ。数量は6月～12月まで増加傾向にあり、1月～5月は減少傾向にある。単価は6月～12月まで上昇傾向にあり、1月～5月は減少傾向にある。</p>					

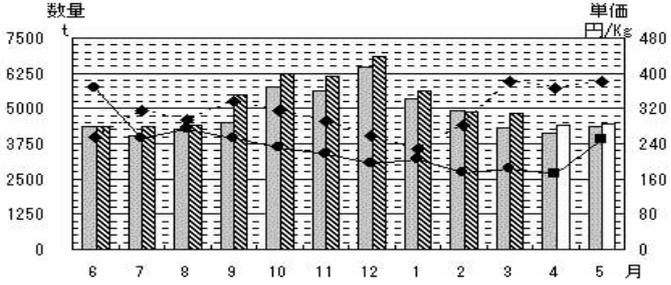
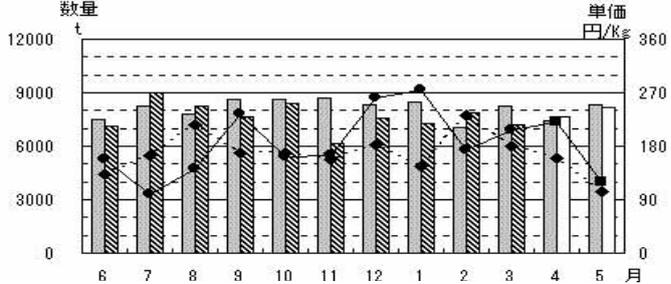
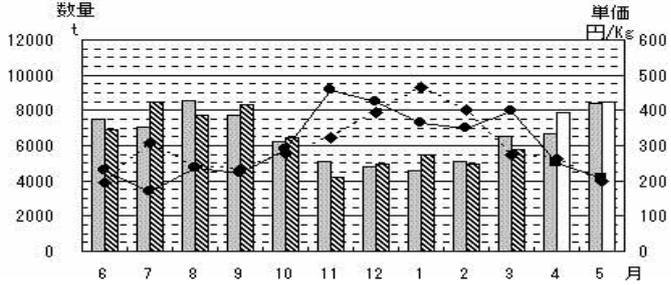
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	16年	920	334	342	345	314	愛知 40%
	17年	889	321	329	314	320	鳥取 13%
	18年	860	354	353	365	340	大分 12%
	19年	917	347	344	337	359	埼玉 6%
	20年	876	416	414	422	412	
	5カ年平均	892	354	356	356	349	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	900	320	330	320	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>秋冬ものは終了し、愛知も終了する。白ねぎも産地は関東産から鳥取、大分に移行する。作柄は良好で、安定した入荷が見込まれる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
レタス	16年	1,827	146	130	120	194	長野 60%
	17年	1,890	123	138	116	113	兵庫 32%
	18年	2,363	158	201	124	161	茨城 5%
	19年	1,995	228	303	199	183	愛知 2%
	20年	2,134	110	107	111	112	
	5カ年平均	2,042	153	177	134	152	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	2,100	160	200	160	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>春レタスの残量と長野が重なり、安定した入荷が見込まれる。兵庫・淡路産の作付けが後付傾向で、年々、重なる時期が長くなっている。 入荷量は前年並みで、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
きゅうり	16年	2,241	213	144	177	338	愛知 31%
	17年	2,453	134	118	160	125	埼玉 20%
	18年	2,316	221	166	233	276	高知 12%
	19年	2,398	192	198	204	179	群馬 12%
	20年	2,407	186	181	237	157	
	5カ年平均	2,363	188	161	202	212	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	2,300	190	180	230	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に埼玉、群馬などから入荷する。産地は西から北関東へ切り替わる。愛知、高知、宮崎は終了へ。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	16年	4,398	273	294	255	271	茨城 36% 千葉 32% 埼玉 16% 中国 5% (愛知産比率 - %)
	17年	4,318	235	251	230	227	
	18年	4,339	273	283	265	273	
19年	4,461	254	273	224	262		
20年	4,373	380	382	438	334		
	5カ年平均	4,378	283	297	282	273	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	21年見通し	4,450	250	200	250	300	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		茨城、千葉などの関東産地からの入荷が中心。茨城の生育は順調で、肥大も良好である。千葉の生育も順調。埼玉は春ねぎの終盤であるが暖冬の影響で肥大が良好。 入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に下回る見込み。					
レタ	16年	7,449	143	127	117	184	長野 41% 茨城 33% 群馬 16% 兵庫 4% (愛知産比率 0%)
	17年	7,622	118	138	116	103	
	18年	7,984	150	176	120	159	
19年	7,054	202	266	177	164		
20年	8,339	104	97	110	107		
	5カ年平均	7,690	142	161	128	143	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	21年見通し	8,200	120	120	120	120	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		茨城などの関東産地に加えて長野からの入荷が始まる。茨城は順調な生育であるがやや小玉傾向。長野、群馬は4月前半の低温・干ばつの影響で生育が停滞したがその後の天候回復で作柄は概ね順調。入荷量は前年並み、価格は前年をかなり上回る見込み。					
きゅう	16年	7,908	227	161	177	346	埼玉 33% 群馬 19% 千葉 13% 茨城 13% (愛知産比率 0%)
	17年	8,689	141	128	182	121	
	18年	8,224	227	183	240	266	
19年	8,701	207	220	207	195		
20年	8,368	200	195	276	155		
	5カ年平均	8,382	200	177	216	217	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	21年見通し	8,500	205	210	205	200	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		4月に続き関東産地からの入荷が中心となる。埼玉は4月の好天により生育順調。群馬も生育順調である。千葉は越冬にかわり夏タイプの出荷に切りかわる。茨城は生育順調ながら病害が多発しやや減少。入荷量は前年並み、価格は前年をわずかに上回る見込み。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	16年	1,351	255	214	234	321	愛知 46%
	17年	1,553	231	233	211	245	熊本 42%
	18年	1,292	275	285	230	316	宮崎 6%
	19年	1,471	255	289	248	229	高知 4%
	20年	1,389	279	275	281	280	
	5ヵ年平均	1,411	258	259	240	276	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	1,400	270	260	270	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、熊本を中心に、宮崎、高知などから入荷する。愛知は千両、熊本は長なす。天候不順で出荷不安定だったが、今後は安定する見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み</p>					
ト マ ト	16年	1,925	223	248	225	199	愛知 34%
	17年	1,797	258	306	252	228	熊本 34%
	18年	1,858	254	326	193	259	三重 16%
	19年	2,090	222	262	199	207	岐阜 12%
	20年	1,849	235	250	237	218	
	5ヵ年平均	1,904	238	277	220	222	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	1,860	250	300	200	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>2～3月の曇天の影響で樹勢が弱く、病害虫の発生も多い。平年に比べて数量減る見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み</p>					
ミ ニ ト マ ト	16年	360	447	422	468	454	愛知 49%
	17年	401	453	496	431	437	熊本 42%
	18年	395	479	545	433	457	和歌山 8%
	19年	431	467	503	466	434	
	20年	443	454	463	436	459	
	5ヵ年平均	406	460	487	446	448	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	420	450	500	440	430	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>2～3月の曇天の影響で樹勢が弱く、病害虫の発生も多い。4月の生育遅れが5月の入荷へ移行。気温上昇とともに中旬以降入荷が増える見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みとなる見込み</p>					

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	16年	5,023	298	258	282	349	高知 39% 福岡 24% 群馬 14% 栃木 5% (愛知産比率 0%)
	17年	5,480	255	257	261	249	
	18年	4,819	307	308	272	347	
	19年	5,234	275	308	266	254	
	20年	4,581	335	337	358	319	
	5カ年平均	5,027	292	294	288	304	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	21年見通し	4,600	320	320	310		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		高知を始めとする西南暖地中心の入荷となる。高知、福岡ともに気温が上昇し晴天に恵まれたため生育と着果は良好である。群馬の生育も概ね順調である。入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。					
ト マ ト	16年	9,982	230	256	236	205	栃木 19% 熊本 17% 愛知 12% 千葉 10% (愛知産比率 12%)
	17年	9,357	267	299	279	234	
	18年	9,411	282	337	234	280	
	19年	10,056	251	290	212	249	
	20年	9,149	270	284	287	246	
	5カ年平均	9,591	259	293	250	243	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	21年見通し	9,400	270	320	270	220	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		関東産地と熊本からの入荷が中心となる。各県産地ともに2～3月の日照不足の影響で生育が遅れ、小玉傾向にあったが、ここに来て大玉果比率も上がり、生産状況は良好になりつつある。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並みの見込み。					
ミ ニ ト マ ト	16年	1,272	409	378	420	429	愛知 30% 熊本 27% 千葉 12% 宮崎 9% (愛知産比率 30%)
	17年	1,318	415	446	416	388	
	18年	1,376	449	491	403	452	
	19年	1,501	434	498	415	392	
	20年	1,505	428	424	423	435	
	5カ年平均	1,394	428	447	415	419	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	21年見通し	1,500	450	460	440	450	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		愛知、千葉と熊本を始めとする西南暖地中心の入荷となる。各県産地とも天候不順による草勢低下で着果は小玉傾向となっている。愛知県はGW、熊本と千葉はGW以降に入荷量が安定する見込み。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をやや上回る見込み。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	16年	909	202	186	205	217	宮崎 47%
	17年	951	218	245	213	202	鹿児島 26%
	18年	886	281	346	247	265	高知 23%
	19年	891	253	332	259	195	茨城 4%
	20年	818	296	366	289	254	(愛知産比率 0%)
マ	5カ年平均	891	248	293	241	226	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	800	300	350	300	250	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		4月に引続き、宮崎、高知、鹿児島からの入荷が中心で、茨城からの入荷始まる。今年は高値での販売が続いたが、平年並みに安定する見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みとなる見込み					
ばれいしょ	16年	3,763	150	141	156	153	長崎 57%
	17年	3,831	164	232	157	129	鹿児島 24%
	18年	4,956	126	140	125	118	北海道 15%
	19年	4,349	115	141	119	92	熊本 2%
	20年	4,374	120	112	121	129	(愛知産比率 0%)
い	5カ年平均	4,254	134	151	134	123	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	4,300	120	130	120	110	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		鹿児島は終盤で中旬まで、GWでも半分を占める。中旬からは長崎に切り替わる。サイズはLが7割。メイクインは熊本中心、中旬より長崎に。 入荷量、価格とも前年並みとなる見込み					
たまねぎ	16年	5,829	68	62	70	72	愛知 51%
	17年	6,204	69	77	71	61	北海道 37%
	18年	6,011	72	75	71	69	兵庫 6%
	19年	5,827	47	55	44	41	佐賀 3%
	20年	6,502	55	57	54	55	
ね	5カ年平均	6,074	62	65	62	60	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	6,000	60	60	60	60	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		愛知を中心に、北海道などからの入荷となる。北海道は前年産の貯蔵もの。愛知、兵庫は新もの。愛知の作況は順調で、大玉傾向。北海道、兵庫も順調で、5月中旬から入荷予定。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	16年	2,606	232	220	214	262	茨城 75% 高知 10% 宮崎 10% 鹿児島 5% (愛知産比率 0%)
	17年	2,661	228	244	234	200	
	18年	2,680	339	365	301	354	
	19年	2,803	296	368	246	268	
	20年	2,463	352	387	383	303	
マ	5カ年平均	2,638	288	317	276	277	前年及び本年の入荷量・価格の動き
ン	21年見通し	2,400	350	380	350	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>茨城からの入荷が中心となる。茨城の生育は一部の作型を除き概ね順調で着果、肥大も良好である。高知は3月以降草勢も回復し順調である。宮崎は草勢の回復がやや遅れている。 全体の入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並み。</p>							
白菜	16年	10,081	148	134	150	157	長崎 53% 鹿児島 20% 北海道 18% 静岡 4% (愛知産比率 0%)
	17年	9,563	166	209	166	138	
	18年	10,917	128	133	120	132	
	19年	10,608	116	128	121	101	
	20年	10,697	121	118	117	127	
い	5カ年平均	10,373	135	144	135	131	前年及び本年の入荷量・価格の動き
し	21年見通し	10,500	125	135	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道の貯蔵量は前年に比べ少なく、九州産地からの入荷が中心となる。長崎は生育前半の降雨が影響し4～5日遅れできている。鹿児島の生育は前進傾向にあるが、代わって静岡産が出回り始める。入荷量は前年並みで、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
たまねぎ	16年	13,258	84	77	85	89	佐賀 66% 兵庫 8% 千葉 5% 北海道 4% (愛知産比率 3%)
	17年	13,725	86	95	88	76	
	18年	15,212	84	90	84	80	
	19年	15,768	53	56	55	49	
	20年	15,162	72	70	70	76	
ね	5カ年平均	14,625	75	78	76	74	前年及び本年の入荷量・価格の動き
ぎ	21年見通し	14,000	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道の貯蔵ものは4月でほぼ終了。佐賀からの入荷が中心となる。佐賀は冬期から続く天候不順の影響で小玉傾向にある。兵庫はほぼ前年並みの生育に回復しているが昨年より小玉傾向。 入荷は多かった前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	16年	17,038	268	279	265	260	熊本 29%
	17年	16,110	284	303	284	267	フィリピン 20%
	18年	11,996	319	331	312	313	アメリカ 12%
	19年	11,868	338	351	337	327	青森 11%
	20年	11,202	320	317	310	331	(愛知産比率 10%)
	5カ年平均	13,643	301	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	11,000	320	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>イチゴは終了に向かい、スイカ、メロン類中心の入荷となる。ぶどう、桃は、加温時期を遅らせたため入荷は遅れ気味。おうとうは、山梨で生育順調、山形は天候不順で受粉心配な状況。 入荷量、価格ともに前年並みとなる見込み。</p>					
アンデスメロン	16年	328	374	423	385	341	熊本 54%
	17年	282	422	576	417	350	茨城 46%
	18年	247	442	507	442	392	
	19年	311	377	373	368	392	
	20年	231	427	439	436	409	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	280	405	460	406	374	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	220	400	430	400	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は熊本、茨城。熊本は5月上旬にピークを迎える。茨城は早い出荷が減り、5月上旬以降増加する見込み。大玉傾向。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
すいか	16年	2,623	191	201	199	172	熊本 84%
	17年	2,405	206	263	205	169	愛知 16%
	18年	2,232	208	218	208	199	
	19年	2,031	207	216	218	192	
	20年	2,096	206	217	208	193	
	5カ年平均	2,277	203	223	207	184	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	21年見通し	2,000	200	220	200	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本を中心に、高知からも入荷。熊本は上旬がピークで、その後は月末にかけて減少する見込み。愛知は早い産地で中旬からあるが、本格出荷は下旬以降になる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに下回る見込み</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	16年	36,622	325	342	327	310	熊本 23% 青森 13% フィリピン 13% 茨城 12% (愛知産比率 1%)
	17年	35,128	353	387	344	334	
	18年	34,747	346	372	336	335	
	19年	31,355	386	409	377	374	
	20年	32,321	355	357	352	356	
	5カ年平均	34,035	353	-	-	-	
21年見通し	31,000	350	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
すいか、メロン、りんご中心におとう、みかんなどハウスものが入荷する。おとうやびわは天候も良く生育が前進傾向にあり、順調な入荷が見込まれる。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みとなる見込み。							
ア ズ メ	16年	1,851	452	473	414	368	茨城 79% 熊本 21% (愛知産比率 -%)
	17年	1,593	443	306	544	743	
	18年	1,272	439	527	454	400	
	19年	1,655	409	396	397	425	
	20年	1,154	437	434	449	432	
	5カ年平均	1,505	436	-	-	-	
21年見通し	1,050	450	500	450	450	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主力産地が熊本から茨城に移行する。茨城の作付面積はやや減少。開花時期の天候が悪く、生育は遅れている。品質・肥大も悪く割れも散見されるも、下旬に向かい回復する見込みである。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。							
す い	16年	6,893	213	221	228	195	熊本 68% 千葉 17% 茨城 10% 群馬 5% (愛知産比率 0%)
	17年	6,046	234	306	234	193	
	18年	6,415	227	248	222	216	
	19年	6,841	230	243	235	217	
	20年	6,571	227	239	231	216	
	5カ年平均	6,553	226	-	-	-	
21年見通し	6,100	220	230	220	210	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
熊本中心に千葉、茨城から入荷する。熊本は天候に恵まれ生育は2~3日前進しているが、作付け面積の減少もあり入荷は前年をやや減少する見込み。千葉のハウスものは生育が遅れており小玉傾向。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや下回る見込み。							

切花・鉢花の5月の見通し

切花（地方卸売市場ヤマエ生花市場 4月24日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	16年	863	36	
		17年	924	45	
		18年	937	35	
		19年	881	35	
		20年	933	40	
	5ヶ年平均	908	38		
21年見通し	940	40			
概要	<p>愛知中心の入荷。生育は順調もやや遅れ気味に推移。4月後半から5月前半にかけ増加に転じて以降入荷は順調に。価格は業務需要により白ギクの動きはそこそこと思われるが、黄キクは需要少なく動きは鈍いと予想される。</p>				
小 ぎ	実績	16年	585	18	
		17年	580	24	
		18年	470	25	
		19年	573	19	
		20年	585	22	
	5ヶ年平均	559	21		
21年見通し	590	22			
概要	<p>愛知、奈良、沖縄等から入荷。沖縄は中旬以降は減少し、主力産地は奈良、愛知近郊に移行する。生育は順調で前年並みの入荷となる見込み。需要が少ないため、苦しい価格展開が予想される。</p>				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	16年	1,035	35	
		17年	883	38	
		18年	908	48	
		19年	844	45	
		20年	854	40	
	5ヶ年平均	905	41		
21年見通し	880	42			
概要	<p>愛知、長野、和歌山等から入荷。全体的に遅れ気味に推移しているため、「母の日」前は入荷が少量であるが、以降は増加する見込み。価格は上旬母の日需要で赤系を中心に荷動きは活発だが、中下旬は苦しい展開が予想される。</p>				
か す み	実績	16年	128	67	
		17年	174	53	
		18年	174	42	
		19年	136	46	
		20年	136	45	
	5ヶ年平均	150	50		
21年見通し	135	45			
概要	<p>和歌山、熊本、高知を中心だが、後半は高冷地の北海道、福島からも少量入荷する。価格は上旬母の日需要で下位等級を中心に引き合いが強まる。中旬以降は品質の低下もあり苦しい展開が予想される。</p>				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	16年	206	140	
		17年	188	169	
		18年	196	186	
		19年	164	166	
		20年	182	156	
	5ヶ年平均		187	163	
	21年見通し		185	160	
概要	高知、岐阜、愛知、新潟等から入荷。オリエンタル系は生育順調で色バランスも良く、堅調な動き。てっぽうゆりは前半は入荷が少なめだが、後半は増加し、弱めの動き。すかしユリはLA系の増加で苦しい動きが予想される。				
洋 ら ん	実績	16年	278	74	
		17年	289	72	
		18年	269	86	
		19年	233	78	
		20年	295	64	
	5ヶ年平均		273	74	
	21年見通し		290	70	
概要	愛知、徳島、静岡、宮崎等と輸入ものが入荷。コショウラン、カトレアの入荷は一旦落ち着く。デンファレは徐々に減少。オンシジウムは順調入荷、洋らん全体では前年並みの入荷予想。価格は母の日需要により前半は良いが、後半は苦しい動きが予想される。				
ば ら	実績	16年	457	57	
		17年	476	55	
		18年	471	63	
		19年	377	65	
		20年	388	63	
	5ヶ年平均		434	60	
	21年見通し		380	62	
概要	愛知、岐阜、三重、和歌山と輸入ものが入荷。スタンダードは前年並みの入荷だがスプレーはやや減少し、全体では前年を下回る入荷が予想される。価格は、前半母の日需要により引き合い強く堅調だが、後半ブライダル需要あるもののやや苦しい取引展開となる。				
枝 も の	実績	16年	1,112	32	
		17年	1,138	32	
		18年	1,155	35	
		19年	991	37	
		20年	960	38	
	5ヶ年平均		1,071	35	
	21年見通し		1,000	35	
概要	静岡、愛知、岐阜を中心に入荷。山取りもの、栽培ものどちらも気温高の影響により前年より入荷予想は増加する見込み。端午の節句用のしょうぶも生育は良く入荷は順調。価格は前半動きも良く堅調も後半はやや動きが鈍く、軟調な取引展開となろう。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
鉢花 I	実績	16年	59,465	534	
		17年	46,234	683	
		18年	60,952	624	
		19年	36,723	748	
		20年	47,060	647	
	5ヶ年平均	50,087	636		
21年見通し	48,000	640			
概要	<p>母の日需要で入荷量は増加し、昨年以上になると予想。ピンク系の色目のはっきりしているものと、黄色の人気が高い。その他の色目のものは、ミックス出荷で購買意欲を高めたい。昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位長野(46%)、2位新潟(23%)、3位愛知(16%)となっている。</p>				
鉢花 II	実績	16年	63,290	2,253	
		17年	61,627	2,336	
		18年	81,660	2,189	
		19年	61,149	2,507	
		20年	64,381	2,266	
	5ヶ年平均	66,421	2,302		
21年見通し	65,000	2,200			
概要	<p>母の日需要で小・中輪の入荷量は昨年以上の増加を予想。ただ、定番の大輪系はアイテムから除かれたのか不安定な相場が近年続いており、逆に減少か。また近年母の日明けはいずれも需要が激減し、厳しい動きとなっている。昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(57%)、2位福岡(12%)、3位熊本(7%)となっている。</p>				
鉢花 III	実績	16年	96,370	576	
		17年	97,251	581	
		18年	91,436	702	
		19年	113,369	731	
		20年	144,634	765	
	5ヶ年平均	108,612	681		
21年見通し	130,000	700			
概要	<p>入荷量は昨年並みか。母の日需要が中心で、5号鉢以下の手頃な価格で購入できるピンク系の玉咲きのものに人気集中すると思われる。母の日明けは需要が激減し、厳しい動きになるであろう。昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(63%)、2位群馬(10%)、3位埼玉(9%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
鉢パティフォーム	実績	16年	38,492	340	
		17年	45,808	304	
		18年	52,604	347	
		19年	43,811	334	
		20年	49,838	280	
5ヶ年平均	46,111	320			
21年見通し	48,000	280			
概要	<p>入荷量は昨年並みか。母の日需要が中心で、中値安定とみるが、母の日明けは需要が激減し、厳しい動きになるであろう。昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位三重（47%）、2位愛知（39%）、3位岐阜（9%）となっている。</p>				
ミニバラ	実績	16年	104,657	284	
		17年	118,996	274	
		18年	137,089	292	
		19年	93,180	369	
		20年	119,144	378	
5ヶ年平均	114,613	317			
21年見通し	115,000	350			
概要	<p>入荷量は昨年並みか。母の日需要が中心で、中輪種系に人気集中し、中値安定とみるが、母の日明けは需要が激減し、厳しい動きになるであろう。昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（62%）、2位岐阜（20%）、3位三重（6%）となっている。</p>				
カーネーション	実績	16年	359,580	437	
		17年	343,735	427	
		18年	444,444	412	
		19年	424,904	460	
		20年	433,670	472	
5ヶ年平均	401,267	442			
21年見通し	430,000	450			
概要	<p>入荷量は昨年並みか。ただ、4号鉢等の小鉢は増加済み。新品種は少ないと思われるので、定番の赤・ピンクに集中か。昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（34%）、2位茨城（24%）、3位福島（11%）となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績 (2009年)

1 輸入実績

品名	2月						2月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	49,279	98.8	4,790,190	92.8	97	93.9	91,645	97.1	8,691,250	86.4	95	89.0
トマト	104	74.7	28,485	61.9	274	82.8	202	68.6	55,819	54.0	276	78.8
たまねぎ	13,578	84.3	526,146	97.1	39	115.1	26,713	83.0	1,014,559	93.8	38	113.0
にんにく	1,357	97.2	89,757	67.4	66	69.4	3,211	102.2	242,135	78.3	75	76.6
ねぎ	2,425	83.0	185,475	54.3	76	65.4	4,547	74.4	361,261	51.6	79	69.4
ブロッコリー	2,136	117.3	343,879	112.4	161	95.8	3,199	94.6	541,896	93.0	169	98.3
結球キャベツ	2,433	685.1	76,921	559.0	32	81.6	4,645	620.0	144,923	485.2	31	78.3
にんじん・かぶ	2,227	145.9	105,055	127.2	47	87.2	3,809	125.3	164,892	95.6	43	76.3
ごぼう	2,303	86.6	76,867	68.9	33	79.5	5,516	89.9	181,672	73.4	33	81.6
えんどう	127	171.0	23,321	129.8	183	75.9	199	74.1	39,166	74.2	197	100.2
アスパラガス	1,768	120.1	825,765	106.1	467	88.4	2,583	110.7	1,325,522	97.0	513	87.6
まつたけ	-	-	-	-	-	-	0	-	470	-	5,732	-
しいたけ	755	106.4	160,341	92.1	212	86.5	1,309	85.7	282,598	76.7	216	89.5
かぼちゃ	15,950	96.0	941,042	75.1	59	78.2	27,906	103.6	1,685,966	75.4	60	72.8
果実(生鮮・乾燥)	154,307	121.5	14,293,795	103.6	93	85.3	294,314	121.7	27,811,358	101.7	94	83.5
バナナ	102,947	144.7	6,970,564	166.0	68	114.7	196,984	144.5	13,174,737	167.3	67	115.7
パイナップル	7,748	67.8	454,103	67.7	59	99.8	17,084	83.4	991,304	82.5	58	98.9
レモン	4,579	138.3	521,517	68.2	114	49.3	8,431	120.8	976,432	62.3	116	51.6
オレンジ	7,098	83.8	711,160	84.5	100	100.8	14,180	100.3	1,437,614	100.3	101	100.1
グレープフルーツ	19,251	105.4	1,840,770	94.3	96	89.5	31,564	90.4	3,064,416	79.8	97	88.2
メロン	1,425	66.5	219,455	77.1	154	116.0	3,549	76.9	460,853	79.0	130	102.8
ぶどう	994	138.2	165,962	81.3	167	58.8	1,350	179.1	240,035	107.4	178	60.0
キウイ	11	56.6	2,901	63.7	256	112.6	34	105.2	8,830	116.6	260	110.9
いちご	12	145.6	5,776	85.8	492	58.9	20	102.5	11,677	66.5	591	64.9
切花(生鮮・乾燥)	2,617	105.2	1,878,910	88.7	718	84.3	4,923	100.1	3,652,817	86.9	742	86.9
鳥獣肉類	127,978	106.6	55,111,523	97.6	431	91.5	265,526	108.4	115,539,710	101.9	435	94.0
牛肉(くず肉含む)	38,890	119.2	13,832,939	87.2	356	73.1	75,558	127.5	27,226,460	94.6	360	74.1
豚肉(くず肉含む)	56,906	97.2	29,776,642	96.7	523	99.5	118,271	100.5	61,921,615	100.0	524	99.5
鶏肉	26,036	111.2	8,272,640	139.8	318	125.7	57,225	100.7	18,708,985	128.6	327	127.8
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	110,004	84.0	64,038,653	80.7	582	96.1	268,053	89.6	140,206,020	85.6	523	95.5
まぐろ類	17,348	83.4	21,082,341	80.5	1,215	96.6	33,520	89.1	33,331,180	80.6	994	90.5
さば・さんま・あじ・いわし	6,757	85.0	1,039,102	70.7	154	83.2	34,388	98.5	6,505,532	92.6	189	94.1

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	1,787	48.4	413,680	43.5	231	89.8	5,566	52.6	1,405,399	42.9	253	81.5
うんしゅうみかん	24	60.4	10,063	59.9	414	99.1	88	62.2	51,307	89.2	581	143.5
りんご	1,729	48.1	351,820	40.5	203	84.2	5,335	52.2	1,200,721	39.8	225	76.2
なし	3	92.5	1,598	94.7	576	102.4	12	29.9	6,238	30.0	525	100.3
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	201,098	74.1	-	-	-	-	388,754	62.0	-	-
緑茶	147	138.7	245,013	103.5	1,672	74.7	266	136.7	458,970	110.2	1,725	80.6

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成17年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	19年平均	100.3	103.1	109.3	102.7	103.1
	20年10月	102.6	109.5	104.6	107.6	105.7
	11月	101.7	101.8	98.6	107.4	106.2
	12月	101.3	105.8	100.7	106.8	106.0
	21年 1月	100.7	109.0	104.6	106.9	106.5
	2月	100.4	101.7	100.4	106.7	105.3
愛 知 県	19年平均	100.5	100.3	111.1	100.7	103.5
	20年10月	102.8	105.9	100.9	105.7	106.5
	11月	102.1	99.7	97.5	105.2	104.7
	12月	101.8	101.4	98.0	104.9	104.7
	21年 1月	101.3	104.1	103.5	104.7	103.8
	2月	100.8	94.6	100.8	103.6	101.2

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	19年平均	97.6	95.0	100.6	110.1	99.5
	20年10月	98.2	96.3	109.7	90.1	100.8
	11月	100.9	96.9	107.3	122.1	98.0
	12月	101.3	97.4	110.2	120.5	99.5
	21年 1月	98.9	98.6	110.0	99.1	95.2
	2月	96.5	98.6	101.3	103.2	96.3

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単-品種、「コシ加」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
19年平均	2,229	147	153	589	440	269	137	295	203	530	629	206	535
20年10月	2,198	138	199	665	512	259	179	264	178	565	689	209	-
11月	2,183	160	142	582	437	257	128	272	194	803	678	207	453
12月	2,208	186	132	578	545	259	137	279	184	664	699	201	428
21年 1月	2,208	188	136	613	626	266	119	273	190	642	628	226	409
2月	2,215	167	127	519	426	271	118	270	185	604	599	215	395
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
19年平均	689	356	509	165	258	705	602	163	170	315	221	776	506
20年10月	507	332	415	-	301	698	620	164	170	331	231	822	499
11月	465	366	408	-	279	675	610	159	172	326	236	837	484
12月	468	364	413	173	260	669	615	162	174	351	229	828	472
21年 1月	554	346	389	150	256	669	610	162	166	335	228	791	485
2月	592	338	405	148	259	650	599	158	161	328	225	785	465

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



あいち農産物生産流通レポート 431
平成21年5月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417